

《構成を工夫して主張をまとめる 話例》

優先席の是非

私が主張したいのは、優先席の代わりに専用席を設けるべきだ、ということです。

確かに「優先」だと、座席を必要とする人がいないときには、誰でも利用することができます。しかし、座席を必要とする人がいるときに誰も席を譲らず、その人が座れない状況を、私はたびたび見たことがあります。「専用」とすることで、座席を必要とする人が確実に座ることができるようになります。

私がクラスの人々にアンケートをとったところ、八割の人が専用席のほうが効果的だと思うという答えでした。そしてその理由として、本当に必要な人が目の前いても席が譲られなかったことを見たことがあるといったことや、専用席であれば外見からは優先席が必要か判断できない人でも必ず安心して座ることができるといったことがありました。

ところで、このような専用席を実際に取り入れている交通機関があることを知っていますか。知っている人が少ないようなので紹介しましょう。札幌市の市営地下鉄です。この地下鉄では一九七五年から専用席が導入されています。十分に趣旨などを周知し、現在ではすっかり定着しており、対象となる人もいつも専用席が準備されているのはありがたいと話しているそうです。

いちばん大切なことは、専用席を設け、座席を必要としている人が座れるような環境を作ることです。そのことが、日常生活においても、周囲の人々への心くばりにつながっていくのだと私は思います。